

FOREST

しづ



伊豆市立天城小学校

署内で森林学習&丸太切り体験!



11月1日(金)に、伊豆市立天城小学校の5年生児童5名が、天城の自然について学習することを目的に、伊豆森林管理署を訪れました。

当日は、署内会議室にて森林教室を実施し、伊豆半島の自然や管内の国有林の紹介を行ったほか、庁舎の内装および展示物の見学や、チェーンソーや鋸を使った丸太切り体験を行いました。



切った木は何歳?(年輪を数えます)

森林教室はだいたい学校を訪問して行くことが多いのですが、今回は署内で実施するということで、庁舎の建物のデザイン(実は、伊豆署の建物は天城の山々や天城隧道、浄蓮の滝等をイメージして作られています)や内装(ほとんどに県産材のヒノキとスギが使われています)、玄関の展示物(伊豆の筏場国有林で採掘された樹齢千年余りの「神代檜」が飾られています)についてもお話ししました。

まるで「木づくし」の建物の中を、子供たちは興味深そうに見て回っていました。

その後、3種類の樹木(ヒノキ、サンショウ、ヒメシヤラ)の丸太切り体験を行いました。子供たちは苦勞しながら丸太を鋸で切ったほか、職員と一緒にチェーンソーも使い、チェーンソーの威力と振動の大きさにとても驚いていました。切った木はおみやげとしてお渡ししました。

普段、森林管理署は知名度が低いと感じることが多いので、今回のような署内での森林教室を子供だけでなく地域の大人向けに行うことも必要ではないかと思いました。(ぴこ)



シカの被害についても学習



丸太切りの説明



最後に一言ずつ感想



「神代ヒノキ」って何だろう?



知っている葉っぱはあるかな?